

家庭数配布

令和5年12月吉日

鷹南学園の保護者の皆様

| | |
|----------------|-------|
| 鷹南学園三鷹市立中原小学校長 | 鈴木 恭子 |
| 鷹南学園三鷹市立東台小学校長 | 小林 陽子 |
| 鷹南学園三鷹市立第五中学校長 | 鶴崎 靖二 |

令和5年度「全国学力・学習状況調査」及び令和5年度東京都「児童・生徒の体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果分析及び授業改善推進プランについて

日頃より鷹南学園の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度1学期に実施しました「全国学力・学習状況調査」及び東京都「児童・生徒の体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」につきまして、結果が出ました。昨年度の調査の結果から問題解決のために取り組んできたことを踏まえて、これまでの成果と今後の課題や取組をまとめました。

鷹南学園の小・中3校が互いのことを知り、小・中一貫教育の長所を生かして、学園全体で学力・体力の向上に役立てていきます。保護者の皆様も、お子さんの学校のことや鷹南学園全体のことを知っていただき、ご家庭でもご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

| <p>学力について</p> | <p>全国学力調査の結果との関連の分析等</p> | <p>【質問紙】 昨年度から生活習慣の定着と自己有用感に関する数値が高く、児童一人ひとりが大切にされていることを実感していることが分かる。また国語への興味が高く、学力定着にもつながっている。 特に算数においては小数や分数の計算と図形の基礎問題に関する定着が課題である。この結果から単元前のレディネステストや授業の最初での計算練習復習などを充実させていきたい。</p> <p>【国語】 話す内容や自分の考えの根拠を見つけることが苦手とする傾向があり、分かりやすく伝えることが課題である。読み取りにおいては、叙述をもとに登場人物の心情や対人物との関係を読み取り、内容を確実に捉えられることができた。今後は、話し合いの目的を意識して自分の意見を持って参加させていくことが必要である。</p> <p>【算数】 意識調査から算数に対する苦手意識が高いことが分かった。問題の考え方や立式の根拠を説明することを苦手とする傾向が見られる。既習事項を生かして考えるとともに自分の言葉で説明できるようにすることが課題である。基本的な四則の演算については、概ね定着しているものの、小数や分数が入ることで、正答率が下がる傾向にある。基礎的・基本的技能の確実な定着が課題である。</p> | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|---|--------------------|---|---------|---------|-------------|-------------|---------|------------|---------|---|--|--|
| | <p>今年度の学力向上に関わる取組及びさらなる学力向上のための方策</p> | <p>(国語) 授業の中で伝える場面を積極的に取り入れる。分かりやすく伝えるための資料活用やICT機器の活用を効果的に取り入れる。また、読書活動を通して様々な文章や語彙と語彙の関係を捉えさせ、文章の内容を正しく理解したり、分かりやすい順序で文章を書いたりできるよう、繰り返し取り組んでいく。</p> <p>(算数) 問題の考え方や立式の根拠について、言葉や図、グラフ、表などを活用して説明する活動を積極的に取り入れていく。ペア・グループ・全体など発表の場を工夫することによってより多くの児童に表現する機会を与え、自信をもって発表できるようにする。年間を通して授業中の計算チャレンジ、eライブラリ、東京ベーシックドリルなどを活用し基礎計算の定着を図る。</p> | <p>授業改善推進QRコード</p> |  | | | | | | | | | | |
| <p>体力について</p> | <p>体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果との関連の分析</p> | <p>【考察】 発達段階や男女の差はあるが、本校児童の得意とする運動と苦手とする運動はおおむね次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="320 1173 1458 1406"> <thead> <tr> <th></th> <th>得意とする種目</th> <th>苦手とする種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全校児童に共通</td> <td>上体起こし 反復横跳び</td> <td rowspan="3">握力 ソフトボール投げ</td> </tr> <tr> <td>男子児童に共通</td> <td>上体起こし 50m走</td> </tr> <tr> <td>女子児童に共通</td> <td>上体起こし 長座体前屈 反復横跳び 20mシャトルラン 50m走 立ち幅跳び</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】 全体的に握力とソフトボール投げに課題が見られた。休み時間などを見ても、ボールを投げる遊びや雲梯、鉄棒、上り棒で遊ぶ児童が少ないように感じる。これらの遊びに対して「痛い」「疲れる」などマイナスなイメージ付いてしまうと、そうした遊びに粘り強く取り組もうとする児童が減ってしまうのではと考えられる。</p> | | 得意とする種目 | 苦手とする種目 | 全校児童に共通 | 上体起こし 反復横跳び | 握力 ソフトボール投げ | 男子児童に共通 | 上体起こし 50m走 | 女子児童に共通 | 上体起こし 長座体前屈 反復横跳び 20mシャトルラン 50m走 立ち幅跳び | | |
| | 得意とする種目 | 苦手とする種目 | | | | | | | | | | | | |
| 全校児童に共通 | 上体起こし 反復横跳び | 握力 ソフトボール投げ | | | | | | | | | | | | |
| 男子児童に共通 | 上体起こし 50m走 | | | | | | | | | | | | | |
| 女子児童に共通 | 上体起こし 長座体前屈 反復横跳び 20mシャトルラン 50m走 立ち幅跳び | | | | | | | | | | | | | |
| <p>なる体力向上のため</p> | <p>今年度の体力向上に関わる取組及びさらなる</p> | <ul style="list-style-type: none"> 持久力・敏捷性を高めるために、長縄・短縄週間を設定した。 持久力をあげるための活動として、音楽に合わせて楽しみながら走る距離を伸ばしていく「さわやかマラソン」を1月に設定する。 準備運動時に、自分の体のどこが伸びているか意識させるように声掛けするなど、ストレッチの大切さを伝えていく。 低学年では固定遊具を使った運動遊びで、雲梯や鉄棒、上り棒などの遊びの楽しさや達成感を味わわせ、日常的な運動に結び付けていく。 「投げ投げウィーク」として、投げる運動を遊び感覚で取り組むための時間と場を設定して行った。 | |  | | | | | | | | | | |
| <p>家庭へのお願い</p> | | <ul style="list-style-type: none"> 毎日の漢字、計算演習(宿題)などを継続的に学習に取り組む習慣を身に付けることが大切です。また、「自分で決める」自主学習が新たな疑問や気づきを深めます。特に高学年では、家で使える時間を考えながら自分にあった計画を立てて実行することへの支援をお願いします。 自分で自分を伸ばすためには課題を自分ごととすることが大切です。日頃のテストや宿題から学習状況から自己の課題を把握したりその課題に対してどのような目標を立て、どのように解決していくか見通しを立てたりできるよう引き続きご支援をお願いします。 体力テストの結果から、日ごろの運動場面を想像しどのようなことができるかお子さんとともに考えましょう。また、遊びの場や運動の機会が減っていることも体力減退の一因として考えられます。ぜひ、保護者の方も子どもと一緒に体を動かしながら、健康で丈夫な体づくりに取り組んでください。 | | | | | | | | | | | | |

| <p>学力について</p> | <p>全国学力調査の結果との関連の分析等</p> | <p>【質問紙】 生活習慣・学習習慣の定着を示す数値は昨年度と同じく高い数値を示している。生活習慣については、日々の保健指導や「すこやかタイム」による家庭と連携した取組、学習習慣では、自ら計画を立てて学習を進めるなど、自己を調整する力の育成の取組により、一定の成果に繋がったと考えられる。 一方で、規範意識・自己有用感が低い傾向にある。児童が自分の責任を果たしたり、人の役に立ったりする機会を増やし、一人ひとりの成長や頑張りを称賛することで、児童が自分に自信をもてるようにしていく。そして、自己有用感をもてるようにすることで、相手への思いやりや社会へ一員としての自覚、法律やルールを守る意識を高め、規範意識の育成につなげていく。</p> <p>【国語】 国語への興味・関心は全国平均値よりやや高い状況である。学力については、上位層の割合は全国や東京都に比べても高い。一方で、下位層（正答数7問以下）の児童が26%もいるなど、学力が二極化している。また、「話すこと・聞くこと」の分野や記述式回答の問題など、「表現」することを苦手としている。 問題解決的な学習を取り入れ、「解決したい」と児童が意欲をもって取り組めるような展開を工夫するなど全体的な学力の底上げを図るとともに、考えを表現できる力の育成のための工夫も行っていく。</p> <p>【算数】 算数における興味・関心は全国平均値をやや下回っている。学力については、上位層の割合が全国の平均を上回っている。また、下位層（正答率7問以下）の児童が28%となるなど、国語と同様に二極化が見られる。児童に身近な話題を教材として取り入れることで学習への興味・関心を高めるとともに、具体物を操作するなど、算数的活動を多く取り入れ、誰にでも「わかる・できる」授業の展開を心掛けていく。また、繰り返し学習による基礎・基本の定着とともに、思考力を高めるような展開の工夫を行っていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------------------------------|---|-----------------------|---|---------|---------|-------|--------------|---------|-------|----------|---------|-------|--|--|--|
| | <p>組及びさらなる学力向上に関する取組の方策</p> | <p>【国語】 ○相手や目的に応じて書き方を工夫し、自分の思いや考えを効果的に書き表せるような授業展開を行う。 ○自分の考えの根拠を明確にして、グループで発表する場やICT機器を活用するなどして説明させる機会を多く設定する。また、正確に伝えるために必要な事柄を、書いたり話したりできるようにする。</p> <p>【算数】 ○児童の生活場面から問題を考えたり、具体物を提示したりしながら問題提示の工夫をする。また、既習事項を生かして考えられるように展開を工夫する。 ○ペアやグループで立式の根拠を図や言葉で説明する時間を設定し、友達と考えを共有する時間を設定する。 ○多様な考えが出るような課題を提示し、児童がいろいろな解き方を知り、より分かりやすい解き方を見付けさせる環境をつくる。</p> | <p>授業改善推進プランQRコード</p> |  | | | | | | | | | | | | |
| <p>体力について</p> | <p>関連の分析</p> | <p>【考察】 本校児童の得意とする運動と苦手とする運動はおおむね次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="327 1265 1460 1400"> <thead> <tr> <th></th> <th>得意とする種目</th> <th>苦手とする種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全校児童に共通</td> <td>立ち幅跳び</td> <td>握力 20mシャトルラン</td> </tr> <tr> <td>男子児童に共通</td> <td>立ち幅跳び</td> <td>ソフトボール投げ</td> </tr> <tr> <td>女子児童に共通</td> <td>立ち幅跳び</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】 全体的に「握力」と「20mシャトルラン」、「ソフトボール投げ」に課題が見られた。休み時間などを見ても、雲梯や上り棒、鉄棒で遊ぶ児童も一部である。また、外に出て、体を動かさそうとしない児童も多く見られる。「ソフトボール投げ」については、依然として課題が見られたが、2年生、3・6年生の男子では、都の平均を上回るなど、成果も見られた。</p> | | 得意とする種目 | 苦手とする種目 | 全校児童に共通 | 立ち幅跳び | 握力 20mシャトルラン | 男子児童に共通 | 立ち幅跳び | ソフトボール投げ | 女子児童に共通 | 立ち幅跳び | | | |
| | 得意とする種目 | 苦手とする種目 | | | | | | | | | | | | | | |
| 全校児童に共通 | 立ち幅跳び | 握力 20mシャトルラン | | | | | | | | | | | | | | |
| 男子児童に共通 | 立ち幅跳び | ソフトボール投げ | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子児童に共通 | 立ち幅跳び | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>今年度の体力向上に関する取組及びさらなる体力向上のための方策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・持久力や敏捷性を高めるために、年に各2回の長縄・短縄週間や集会、年1回の持久走週間を設定している。また、「投」の力を育むための体育朝会も年7回、設定した。 ・それぞれの集会や週間では、誰かと競うのではなく、「体力は自己のもの」という認識のもと、楽しみながら自己の記録を伸ばしていけるよう、カード等を工夫している。 ・体を動かす機会を増やすために、雨の日の休み時間は学年で輪番に体育館遊びができるようにしている。 ・投げる力を高めるために、低学年と高学年で異なるサイズのクラスボールを配布している。誰でも握りやすく、投げたくなる意識を高めていく。また、一人ひとりの運動量を増やすために、体育の授業で一人一個はボールを使えるよう用具を増量した。 | |  | | | | | | | | | | | | |
| | <p>家庭へのお願い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着や学習を調整する力を育成するため、家庭学習の充実をお願いします。担任から出される課題の他に、タブレットを活用したeライブラリに取り組むなど、個々の課題に合った学習ができるようご支援ください。また、高学年では、自分で使える時間を把握し、課題を終わらせるよう計画を立て進められる力が大切です。自ら計画的に進められるよう支援をお願いします。 ・すこやかタイムでの生活習慣の振り返りや体力テストの結果から、自分の身体のことを知り、苦手な運動にも少しずつ挑戦させてください。また、運動の機会が減っていることも体力低下の一因と考えられます。一緒に体を動かしながら、身体を動かすことが楽しいと思える子どもを育てていきましょう。 | | | | | | | | | | | | | | |

三鷹市立第五中学校

| <p>学力について</p> | <p>全国学力調査の結果との関連の分析等</p> | <p>【質問紙】 3年生の多くは、1・2年生で学んできたことを肯定的に捉え、それらを生かしながら更に知識や理解を深める工夫や努力をしている。また、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていると考えている生徒が多い。全国・東京都と比較して正答率が高い結果となったが、その積み重ねによるものと考えている。</p> <p>【国語】 ・すべての内容項目について、全国、都の平均を上回っている。表現技法についての理解度は高いが、意図や理由、展開を説明する文を書くことにおいて、無回答率が高い。また、書写の行書の特徴を正しく理解していない生徒が多い。</p> <p>【数学】 ・用語の意味や計算のしかたなど知識・技能では、都や全国平均を上回っており、授業での反復の成果が表れている。一方で、判断の根拠を数学的に表現することを苦手とする生徒が多いので、今後も答えや結果だけでなく、過程や根拠を考え、表現することに重点を置き指導していきたい。</p> <p>【理科】 ・第1、第2四分位は全国を上回っており、第3四分位は全国と同じであることから、中間層が多い。地球を柱とする領域のうち特に岩石に関すること、地層の広がりや傾きの正答率が低く、重点的に指導が必要である。思考・判断・表現の問題で、全国・都の正答率を上回っているため、維持できるようにしていく。</p> | <p>QRコード</p> |  | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|---|------------------|---|---------|---------|-------|-------|---------|----------|----|---------|-----|--|--|--|
| <p>学力向上のための方策</p> | <p>今年度の学力向上に関する取組及びさらなる学力向上のための方策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとにルーブリックを提示したり、授業ごとに「めあての提示」と「振り返り」を行うことで生徒一人ひとりが見通しをもって学習に取り組み、自分の学習状況を把握して学習を調整できるようにする ○ICT 機器やユニバーサルデザインの手法を活用した学習活動の工夫をする ○タブレット端末などを活用し、個別最適な学びの実現を目指す ○自立的な学習を促すため、家庭学習の手引きを活用する ○みたか地域未来塾や放課後補習教室など、放課後の学習機会を充実させる | <p>授業改善推進プラン</p> |  | | | | | | | | | | | | |
| <p>体力について</p> | <p>慣等調査の結果との関連の分析</p> | <p>【考察】 発達段階や男女の差はあるが本校の生徒の得意な種目と苦手な項目は概ね次の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="327 1137 1465 1305"> <thead> <tr> <th></th> <th>得意とする項目</th> <th>苦手とする項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全校生徒に共通</td> <td>立ち幅跳び</td> <td>長座体前屈</td> </tr> <tr> <td>男子生徒に共通</td> <td>ハンドボール投げ</td> <td>握力</td> </tr> <tr> <td>女子生徒に共通</td> <td>持久走</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】 3学年では男女とも「上体起こし」「反復横跳び」「持久走」「50m走」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」の6項目において都平均を上回った。これは3年間の体力向上に関わる取組みの成果であると考えられる。今後は1、2学年においても同様に実践する他、さらに柔軟性の向上が図られるよう指導することが大切である。</p> | | 得意とする項目 | 苦手とする項目 | 全校生徒に共通 | 立ち幅跳び | 長座体前屈 | 男子生徒に共通 | ハンドボール投げ | 握力 | 女子生徒に共通 | 持久走 | | | |
| | 得意とする項目 | 苦手とする項目 | | | | | | | | | | | | | | |
| 全校生徒に共通 | 立ち幅跳び | 長座体前屈 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男子生徒に共通 | ハンドボール投げ | 握力 | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子生徒に共通 | 持久走 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>方策</p> | <p>今年度の体力向上に関する取組</p> | <p>「筋力や筋持久力」を高める手立て 今年度は保健体育科の授業で「筋力」を高める補強運動を取り入れた。生徒がより一層意欲的に取組めるよう用具を使ったり、体幹トレーニングやゲーム性を取り入れた運動などを実施したりした。また、生徒の発達段階に応じてトレーニングの負荷を増やしたり、様々な工夫を実践したりした。また領域や種目の内容に適した筋持久力のトレーニングや運動を取り入れ、生徒が楽しみながら取組むことができるよう配慮した。</p> <p>「巧緻性」の向上を図るための手立て 一昨年度は全学年において「ハンドボール投げ」について東京都の平均を下回っていた。この一年間保健体育科の授業においてコーディネーショントレーニングを取り入れ、より一層体の動かし方が器用になるよう取組んだ結果大きく改善された。今後もさらに運動内容の充実を図るとともに運動の質を高めていくことができるように継続して指導助言する。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>お願い</p> | <p>家庭への</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体力・学力を向上させていくためには、日ごろの規則正しい生活習慣の確立が重要です。ご家庭で過ごす時間の中に、家庭学習の習慣がさらに定着できるように子供たちを支えてください。 ・体力テストの結果を踏まえ日常生活のなかで体力の保持増進に努め、将来にわたり運動を続けられるよう助言してください。そしてこのことが生涯に渡る健康の保持増進につながります。 | | | | | | | | | | | | | | |

